

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会

〒336-0031 さいたま市南区

鹿手袋4-1-7(建産連会館内)

TEL 048(864)0385

URL <http://www.saidenkyo.jp/>

E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

彩の耀

さいのかがやき

第172号

平成26年10月15日発行

発行人 島村光正

編集人 広報委員会

(委員長 市之瀬正靖)

編集 日本工業経済新聞社
(埼玉建設新聞)

災害復旧対策で講習会 福島から講師招聘

9月10日、さいたま市南区の建産連研修センターに関係者約70人が集まり災害復旧対策講習会を行いました。講習会は①埼玉県の防災対策について②被災して、被爆して、それでもこの街で生きていく③11東日本大震災を経験して見えてきたこと④災害時の実働についてーの3部構成。第1部は県の危機管理防災部消防防災課から、第2部は福島県電設業協会から講師を招聘し講演、第3部の災害時の実働体制については協会の町田事故防止対策委員長が説明しました。

講習に入る前に島村会長は「講習会を通じ、災害実働マニュアルが役に立つ実効性のあるものとなることを望んでいます。小さな1歩かもしれないが、地域住民のために協会活動を進めていく所存です。大震災から3年が経過した今、多数の報道写真パネルの展示から記憶と教訓の風化を防いでいかなければならないと感じました。講演では福島の実情や災害時の対応など、教訓となるお話がいただけます。本日たくさんの人に集まっていただきましたが、是非今日の講習会を実りあるセミナーにしていきたい」と語り、災害に備える事の大切さを訴えました。

第1部の埼玉県の防災対策について消防防災課の

小山省吾主幹が、県の災害対応体制、防災計画、災害対応事例（東日本大震災、竜巻、大雪）について解説。災害対策本部の初動フローや地域防災計画について説明しました。

第2部は昨年から交流を密にさせていただいている福島県電設業協会から、いわき支部の蛭田淳氏（岩電機工事(株)代表取締役）をお招きし、大震災当事の体験談を聞かせていただきました。被災当日は協定を結んでいた災害マニュアルのとおり指示系統が機能せず、現場が混乱に陥ったことなどを静かな口調ながら、胸に迫るお話をいただきました。また震災を通して得た電設業協会会員としての準備・課題、行政への要望などを取りまとめて提示していただきました。

最後に担当委員会から災害時の実働体制について説明があり、講習会を終了しました。



70人が参加・災害復旧対策講習会



パネル展示にも大勢の会員が

第1回技術講習会

7月7日、建産連研修センターで「自主検査と現場試験のポイント」をテーマとした今年度第1回目の技術講習会を開催しました。電気事業法改定に伴い、電気工作物の品質確保は施工者自らの責任に委ねられることになっております。このため、電気工作物の使用前自主検査と現場試験が一層重要となっていることから今回のテーマとなりました。同テーマについては技術者の関心も高く、会員以外にも自治体技術者らが多数参加し、会場は満席でした。

開会に先立ち島村会長があいさつで「会員の技術向上に伴う成果品の品質向上が、会員と非会員の差別化に繋がります。電気工事のことは当協会会員に任せておけば大丈夫と言われるよう、非会員との差

自主検査と現場試験テーマ

を広げるため、ひいては会社のため皆さんのために勉強してほしい。今後も皆さんの希望に沿う電気技術の向上に資するようなテーマの講習会を催していきます」と決意を述べ、技術向上の重要性を訴えました。

講習は関電工の川田勉氏が電気設備の自主検査について、続いて同社の三枝晃氏が電気設備工事の測定と試験についてそれぞれ現場に即した内容の講演を行いました。



今年度第1回目の技術講習会を開催



「彩の耀」に寄せて



本庄市長

吉田 信解

一般社団法人埼玉県電業協会の皆様におかれましては、日頃から電気設備産業の適正な運営と健全な発展にご尽力を賜り、社会生活の安定と社会福祉の向上にご貢献をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

本庄市は、江戸時代に中山道最大の宿場町として繁栄し、「群書類従」の編纂で有名な盲目の国学者塙保己一誕生の地でもあります。豊かな水と肥沃な大地に恵まれ、野菜や花の一大生産地です。関越自動車道「本庄児玉IC」や上越新幹線「本庄早稲田駅」の利用により、手軽に東京や上越方面に行くことができるなど交通の要衝となっています。昨年には、国道17号（本庄道路）が着工され、更なる交通の利便性向上が期待されています。また、本市の文化資産「競進社模範蚕室」や保存活用改修工事を行う「旧本庄商業銀行煉瓦倉庫」は、今年世界文化遺産に登録された群馬県の「富岡製糸場と絹産業遺産群」とは絹産業・養蚕業において大変深い繋がりを持つものです。このような絹産業・養蚕業の歴史・文化を全国にPRすることで地域活性化を図るとともに、後世に伝え残していくことも本市の重要な使命であると捉え、絹産業をめぐる県域を越えた広域観光振興を図るため、その施策の検討並びに施設や周辺環境の整備を進めております。

さて、本年2月に合併後の新本庄市3期目の市政を担わせていただくことになりました。私は、3期目のスタートにあたり「人も地域も元気で健康な都市 本庄」という言葉を掲げました。全ての市の事業は、本庄市また本庄市民にとって健やかな未来を創るためのものであり、財政面や将来性など、様々な

角度から見て健全なものでなければならぬと考えます。さらに言えば、都市の健康という視点も、ハード面、ソフト面を含めて双方ともに大切であると感じております。

本市が埼玉県よりエコタウン化を進める市としての指定を受け、創エネや省エネに関するさまざまな取り組みによりエネルギーの地産地消を推進している「埼玉エコタウンプロジェクト」や市民・民間・行政が協働でまちづくりを進めている「本庄早稲田の杜づくり」は、交通の利便性や災害が比較的少ない地勢をいかし、埼玉県や早稲田大学との連携により、北関東に向け開けた拠点として、環境に配慮した新たな顔としてのまち「環境共生都市」の実現を図っております。これらの施策の展開とあわせ、今後は「人も地域も元気で健康な都市 本庄」をテーマに既成市街地の諸課題へのチャレンジなど、将来にわたり健やかで持続可能なまちづくりを目指してまいります。

今後とも、市のまちづくりの将来像「あなたが活かす、みんなで育む、安全と安心のまち本庄～世のため、後のため～」の実現に向け、更なる発展を目指し、市民の皆様とともに課題の解決と新時代をひらくまちづくりに魂を込め、市政に取り組んでまいりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、一般社団法人埼玉県電業協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、ごあいさついたします。

企業対策 セミナー

建設業法改正ポイント

事業
主要

さいたま新都心の男女共同参画推進センターで、当協会と県空調衛生設備協会との共催により7月25日に企業対策セミナーを開きました。テーマは①建設業法改正②工事検査③入札・契約制度④関東地方整備局営繕部における入札状況で、詳細な説明が行われました。

研修に入る前に当協会の島村会長が「空調衛生設備協会との共同事業として、興味深く参加しやすい企画という趣旨で今回のテーマとなりました。講習は2部で構成し、はじめに県、続いて国土交通省から講師をお招きし話していただきます。今回の建設業法一部改正については若手入職者問題を含め適正利潤確保など、業界の発展に繋がることが期待されています」とあいさつしまし

た。

セミナーは①建設業法の改正をめぐって（講師＝県建設管理課鈴木主幹）②工事検査について（講師＝県設備課矢部副課長）③2014年度入札・契約制度について（講師＝国土交通省関東地方整備局営繕部寺田官庁施設管理官）④営繕部における発注工事の入札状況について（同）それぞれ詳細な解説をいただきました。



真剣に話を聞く受講者

営業関係 セミナー

日本一のマグロ船から学ぶ

事業
主要



熊田副会長

9月12日に東日本建設業保証(株)埼玉支店との共催により、さいたま共済会館で営業関係者セミナーを開きました。当日は協会会員企業の経営者および営業担当者などおよそ40人が参加、コミュニケーション術などについて学びました。

メインテーマは「日本一のマグロ船から学んだ！組織をよりイキイキさせるコミュニケーション」で、(株)ネクストスタンダードの齊藤正明先生が90分に渡り、自身の体験をもとに習得した組織活性化・コミュニケーション術を体全体を使い解説して下さいました。

講演に入る前に熊田弘信副会長がセミナーの趣

旨と概要を説明し「本日は人気が高くなかなか招聘出来ない齊藤先生のお話を聞くことが出来、非常に楽しみにしている。マグロ船という小さな共同体は私たちの会社と同じような規模であり環境も似ている。コミュニケーション策などとても仕事に役立つはずです」とあいさつ。続いて東日本建設業保証(株)の関司支店長も同様にあいさつをいただきました。

セミナー終了後は、場所を変え懇親会を行いました。



齊藤氏が組織活性化コミュニケーション

資格取得

正しい知識と施工を

あと施工アンカー講習会

事業
主要

7月3日に建産連研修センターで「あと施工アンカー講習会」を開きました。今回の講習会は技術研究委員会の主催によるもので、昨年引き続き公共・民間ともに建築物の改修工事が本格化する夏を前に、実務に沿った研修を実施。会員企業から技術者約40人が参加しました。

小林技術研究委員長は座学を前に「アンカーの施工については、需要の増大とともに資格が厳しくなっている。繁忙期に向け建築物の改修工事が増えてきており、アンカーを打つ機会が増えてくるはず。アンカー施工方法と安全性確保に対して厳しい目が集まっている。正しい知識に則った正

確な施工を行っていただき、検査の時などにアンカーについて質問された場合でも、しっかりとした対応が出来るようになって欲しい」とあいさつしました。

研修は約2時間の座学の後、駐車場に用意されたコンクリートブロックに数種類のアンカーを実際に打ち込みコツを掴んでいました。



あいさつする小林委員長(右)

埼玉県衛生研究所 ～閉校になった校舎を研究施設に有効利用～

都市整備部 設備課

はじめに

埼玉県衛生研究所は、インフルエンザや食中毒の原因の究明をして、県民の疾病予防、健康の保持増進、公衆衛生向上のために調査研究、試験検査研修指導及び公衆衛生の情報の収集・解析・提供を行う施設である。

さいたま市にあった衛生研究所の既存建物は築42年が経過しており施設及び検査機器の老朽化が著しいため、未利用になっていた旧吉見高等学校を整備して平成26年4月に吉見町に移転した。

これに併せて深谷支所を統合し、隣接している財団法人埼玉県健康づくり事業団も同じ敷地に移転を行った。県としては、校舎を研究所に用途変更することで解体・新築に比べてコストを抑えて廃棄物の減量と施設の有効活用を図った。

また、政令指定都市移行に伴い、さいたま市が設けた同種の機能を有する「健康科学研究センター」と地域を分散することで大規模災害時の同時被災リスクを軽減する体制も整備した。

施設・敷地概要

施設名	埼玉県衛生研究所	敷地	埼玉県比企郡吉見町大字江和井4 1 0 - 1
敷地面積	約34,420㎡		
用途地域	市街化調整区域		
延床面積	本館 約8,031㎡	高度研究棟	約2,967㎡
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造（本館—高度研究棟）		
事業費内訳			
工事費	電気工事費 7億3千万円（5社）	機械設備工事	12億6千万円（7社）
	建築ほか工事 18億7千万円（13社）	工事費合計	38億7千万円（25社）

施設概要

本館（旧吉見高等学校校舎）

既存の校舎は、中庭に面して回遊動線をとったH型の間取りとなっており、改修後も基本的に同様の間仕切り動線として中庭西側に人荷用エレベーターを配置した。

1階及び2階は、衛生研究所の総務、会議室を主体に、健康づくり事業団の管理部門が一部を使用する。2階の一部と3階から5階までは、衛生研究所の検査部門が使用する。健診施設棟、倉庫棟とは渡り廊下を設け外部で接続した。

健診施設棟（旧吉見高等学校生徒ホール）

既存の改修となり1階が健康づくり事業団の健診諸室を配置し、2階は衛生研究所の管理エリアとし、地上には、渡り廊下を設けて動線を確保した。

高度研究棟（新築）

本館の長さを合わせた規模で二階建てとした。バイオセーフティーレベル3の実験室をはじめ高度な環境を必要とする複数の検査室を配置した。

本館とは2階渡り廊下で接続して、両端の機械室、エレベーター、階段等固定的な要素を除いてはスパンごとのモジュールにあわせてどこでも間仕切りが可能な更新、改修ができるように工夫した。

景観への配慮

本館と高度研究棟は、研究所としての機能を満たすためダクトや配管を建物外部に設置した。景観に配慮してスパンごとにアルミルーバーを設け設備系の配管などを目隠しして、実験環境の独立性、更新性を高める施工とした。

高度研究棟には、環境に配慮して空調負荷低減のため日射遮蔽庇、屋上に30kWの太陽光パネルを設置した。

電気設備概要

受変電設備は、高度研究棟、衛生研究所本館及び健診施設棟の実験電源・施設負荷に対して構築した。

また、拡張性、フレキシビリティの高い設備計画とし、ケーブルラック配線を本館、高度研究棟実験室に導入し、実験室毎に分電盤を設置した。

種別	機器仕様	容量等
受変電設備 主変圧器	屋外・屋内キュービクル 高効率型(トッパンナー)	3相3線式6.6kV 1回線受電 電灯用300kVA、防災電源用150kVA、 動力・実験用1,500kVA等
自家発電設備	屋外低騒音型 350kVA	A重油 1,950L 20時間連続運転対応

環境対策

再生可能エネルギーや省エネ性の高い電気設備、空調・給排水設備を導入し、温室効果ガスの削減に配慮した。

一般事務室、実験室には、初期照度補正付きHf型蛍光灯を設置し、廊下、トイレ及び外灯には、LED照明を採用した。またトイレは人感式自動点灯を採用した。

主な省エネ設備

設備名称	仕様	削減効果(年間)	CO ₂ 減
太陽光発電	30kW	30,000kWh発電	11.6t
LED照明	ダウンライト485個、外灯34基	従来比較40%減	0.25t
ヒートポンプ給湯	加熱能力30kW×2 貯湯量8t	従来比較66%減	4.4t
雨水利用	カートリッジろ過時間処理能力2t/h	1,030t水道水を削減	0.37t
空冷ヒートポンプチャージ	40HP×11台	従来比較25%減	64t

施設管理

複数団体が入居するため、監視カメラやカードキーによる入退室管理を設置して防犯対策を実施、入居団体毎の電力量や水道使用量の把握を自動計測し施設管理者の負担軽減を図った。



本館棟外観(配管等をアルミルーバーで保護)



高度研究棟内検査室(一例)

平成26年度電気工事技術研修会

人材育成委員会 市之瀬正靖 (㈱市之瀬電設)

今年もやってまいりました。会員企業が施工を担当している技術系の県立高等学校を訪問し、現場見学会および意見交換会を8月21日(木)に開催しました。三郷工業技術高等学校で電気科・情報電子科の2年生の生徒さん27名と先生方7名の参加を頂きました。

開会式では学校の先生から「普段入ることのできない工事中の現場を、電業協会の皆さんのご協力により見学することができます。工事中の天井内や壁の中の電気工事の状況をよく見てくるように」と述べるとともに「今日は暑いので熱中症にならないよう、水分補給を十分にするように」と参加した生徒の皆さんに注意を呼び掛けていました。

協会からは、岡村副会長が「学校内の電気工事がどのように施工されているのか、安全に気をつけて見学をしていただき、これから進路を決めるときの参考にしてください」というあいさつがありました。

続いて、現場代理人より説明があり、先生・生徒・人材育成のメンバーを1グループとし、4班編成で工事現場の見学に行きました。

先生も生徒たちも現場見学は初体験!まだ天井が貼られていない内部状況を見ては感心しきりの様子。初めて見る現場に目を輝かせ、下地材状況での位置ボックス取り付け方法や配線などについて、引率している人材育成のメンバーから施工方法などについて説明を受けていました。

教室に帰ってきてからの意見交換会では「大きな建物になると、ケーブルがコンガラガツタリして判らなくなったりすることはないですか?」「暑さ対策でトレーニングが必要ですか?」とか「作業員の人は、電気工事をするのに何種類の資格を持っているのですか?」など、自分たちが工事に携わった場合に不安と思うことや疑問を我々にぶつけてきました。また半年後、就職活動をするときに企業が求めている人材やスキルについての質問も寄せられました。

人材育成委員会では、電気工事業に進もうと考えている生徒さんたちが安心して就職活動ができ、入職後に「こんな筈ではなかった」というようなミスマッチが起こらないよう、生徒さんたちの考えを「聞くこと・知ること」ができ、また企業が考えていることを伝えることができた1日になったと考えています。

最後に施工者の㈱岡村電機さん、三郷工業技術高等学校の先生方また設備課をはじめとする関係者各位のご協力により開催できましたことをここに感謝しお礼申し上げます。



今年の夏も熱中症のニュースをよく耳にしました

(株)躍進電気 矢嶋 博和

Voice

当社では、熱中症対策のため、毎年梅干しと梅酢を作って社員に持たせて現場においてあります。

梅干しを作ったことがないという人もいますので、梅干しの作り方を紹介したいと思います。

- ①6月中旬くらいに大きめの南高梅を仕入れます。
- ②へたを取って、洗ってざるに乗せて水気をよくきります。
- ③梅を大きい鍋に入れて、酢を少し入れてから、塩でガラガラと転がします。梅が、潰れないようにと気を使いながらしています。
- ④ビニール袋を入れた樽に梅を入れて最後に置き塩

をして、きれいに洗って絞った赤紫蘇を入れてビニール袋を密封をします。この状態で約1箇月置くと、すごく良い色の梅干しと梅酢ができます。

- ⑤梅雨明けして晴れの日が続く時にざるに、上げて丸4日間干します。

今年も美味しい梅干しと梅酢ができあがりました。



埼玉県建築設備関連三団体にて要望書を提出 ～分離発注の推進を～

当協会では（一社）埼玉県空調衛生設備協会、（一社）埼玉県設備設計事務所協会とともに建築設備3団体として情報交換を行いながら、設備業界の問題について取り組んでおります。その事業の一環として8月27日(水)に県主要箇所へ「分離発注」要望書を提出し、担当者の方々との意見交換を行いました。

本年度で3年目となるこの要望活動では、一括発注のデ



メリットと設備業界へ分離分割することでの優位性についてお話しし、また、地元中小業者への直接発注とさせていただくよう要望の説明を行いました。



国土交通省関東地方整備局との意見交換会 ～三法の改正に伴い～

7月25日(金)に（一社）埼玉県空調衛生設備協会との共催事業として開催した企業対策セミナー後に、国土交通省関東地方整備局営繕部との意見交換を行いました。

国土交通省により取りまとめられた「公共事業の円滑な施工確保対策」を踏まえ、各工事の特徴や地域特性を考慮しながら営繕工事の円滑な施工を確保するため、必要な対策を実施していることの説明があり、各協会からの意見を求められました。電気設備業としては、1級資格者の高齢化に伴い、若年有

資格者に実績を積ませるような総合評価方法を考慮していただきたいことや、地区割りでの地元に優位な範囲区分などを考えていただきたいなどの提案をし、その後、共通事項について意見交換を行いました。

また7月23日に開催された「建設業法等の一部改正する法律」及び「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」ならびに「国土交通省直轄工事における社会保険等未加入対策」に関する説明会に触れ、今後の運用指針策定のため、適切な実施に向けての協力をいただきたいと依頼を受けました。

災害対応の新体制について ～細目協定課所、関係機関へ説明～

平成26年8月26日から9月3日にかけて、下記の細目協定19課所など埼玉県関係機関を訪問し「本年度版災害実働マニュアル」を提示の上、平成26年9月1日からの新本部構成と正会員の対応について、新規内容となっていることの説明を行いました。

配布箇所名
危機管理防災部消防防災課
総務部管財課
県土整備部道路環境課
県土整備部建設管理課
都市整備部住宅課(住宅供給公社)
都市整備部設備課
教育局教育総務部財務課
病院局経営管理課

配布箇所名
さいたま県土整備事務所
朝霞県土整備事務所
北本県土整備事務所
川越県土整備事務所
飯能県土整備事務所
東松山県土整備事務所
秩父県土整備事務所
本庄県土整備事務所
熊谷県土整備事務所

配布箇所名
行田県土整備事務所
越谷県土整備事務所
杉戸県土整備事務所
県立循環器・呼吸器病センター
県立がんセンター
県立小児医療センター
県立精神医療センター
営繕工事事務所

ボランティアで子どもたちと…

協会だより
東部支部

深井電気株式会社 深井 正美

私は長年地域ボランティアに携わっていき、夏休みは地元の小学生を集めてのキャンプなるものを15年くらい開催していました。

しかし最近仲間も高齢化？昨年より夏休み体験バスツアーと名を変えて、やはり地域の子どもの対象にした事業を続けています。そして2年目の今年の夏は、群馬県の赤城クローネンベルクという所に総勢60人で行って来ました。私も末の娘と一緒に参加です。

夏休みに入ったばかりの日曜日でしたが・・・意外に空いています。やっぱりここは群馬県？みんな暑いことを知っているからですかね？

施設内はドイツの田舎を再現したテーマパーク。広い園内には羊や馬の放牧場、デイキャンプの森、ブルーベリーなどを収穫できる農園もあります。ポニーやウサギとふれあえるほか、アイスクリームやバター、ソーセージなどの体験教室（要予約）も人気です。

2人で散策していると、アーチェリーを発見しました。ちょっとだけ本格的で大人の私でもやってみるとはまります。意外に？楽しめました。さて、メインは体験教室です。事前に予約

したのはアイスクリーム作り。現地で時間があつたのでせっかくだからソーセージ作りも予約。初めてのソーセージ作りに2人でワクワクです。出来上がりは・・・大満足です！夕飯のもう一品になりました。帰りのバスの中は・・・みんな疲れた？寝ている子がたくさんいます。もちろんうちの娘も・・・。

普段、仕事に追われていると・・・子どもたちとふれあうなんて中々ありません。

自然とふれあい、思いっきり楽しんだ子どもたちは、みんな表情がイキイキと輝いています。そんな姿を見ると・・・こちらも自然と笑顔になってしまいます。

ボランティアは自分たちも元気になれる活動だと思っています。その楽しさを他の人とも共有できるよう、これからも活動が続けたいと思います。動けるうちに・・・
(笑)



会 員 企 業 紹 介

三位電気(株)

TEL 048-266-6111
FAX 048-266-5441

川口市小谷場531

—企業モットー—
当社は、「顧客の満足・信頼」に応えることをモットーに、技術と安心を提供します。

—employment data—
従業員数=95 女性雇用人数=14
高齢者雇用人数=6



(株)躍進電気

TEL 048-572-3738
FAX 048-572-6220

深谷市上柴町東4-11-2

—企業モットー—
確かな技術と誠意ある仕事で地域の人に信頼される企業を築き『躍進』を目指します。

—employment data—
従業員数=12 女性雇用人数=3
高齢者雇用人数=3



瑞穂電設(株)

TEL 048-664-1102
FAX 048-667-0762

さいたま市北区植竹町1-100

—企業モットー—
今年で創業50年。誠意と信用を基にお客様のニーズに応えていく所存です。

—employment data—
従業員数=11 女性雇用人数=2
高齢者雇用人数=3



(株)市之瀬電設

TEL 048-472-1417
FAX 048-474-2093

志木市中宗岡1-8-67

—企業モットー—
日々多様に進化し続ける電気産業に挑み、安心安全な電気設備を提供しております。

—employment data—
従業員数=17 女性雇用人数=3
高齢者雇用人数=4



協会のうごき

8月

- 6日 第3回人材育成委員会
7日 第3回事故防止対策委員会・
第1回広報委員会 合同委員会
8日 第1回企業対策委員会
21日 電気工事技術研修会
(県立三郷工業技術高校)

9月

- 10日 災害復旧対策講習会
第4回人材育成委員会
第4回事故防止対策委員会
12日 営業関係者セミナー
16日 第1回40周年事業特別委員会

第7回理事会

- 18日 1級電気工事施工管理技術者検定試験
準備講習会実地コース1/3
25日 1級電気工事施工管理技術者検定試験
準備講習会実地コース2/3

10月

- 2日 1級電気工事施工管理技術者検定試験
準備講習会実地コース3/3
3日 2級電気工事施工管理技術者検定試験準
備講習会[1日コース]
10日 第5回人材育成委員会
21日 第8回理事会
24日 Facebookセミナー

- 25日 H26登録電気工事基幹技能者認定講習会
26日 "

11月

- 13日 三県連絡会議
14日 県庁オープンデー(人材育成委員会)
18日 第9回理事会

12月

- 16日 第10回理事会

(一社)埼玉県電業協会会員

支部長◎ 副支部長○

さいたま支部(14社)

- 旭電気工業(株)(大宮区)
浦和電気工事(株)(南区)
大塚電設(株)(浦和区)
(株)岡村電機(緑区)
○国益電設工事(株)(南区)
◎埼玉電設(株)(中央区)

(さいたま市)

- 新生電気工事(株)(見沼区)
竹内電気(株)(岩槻区)
(株)横田電業社(浦和区)
中村電設工業(株)(見沼区)
浜野電設(株)(北区)
(株)万代電気工業(桜区)
瑞穂電設(株)(北区)
(株)八洲電業社(北区)

東部支部(13社)

- (株)内田電気商会(久喜市)
(株)大久保電気(越谷市)

- 古敷谷電設(株)(草加市)
(株)三進電気工事(上尾市)
島村電業(株)(上尾市)
(株)新電気(三郷市)
◎(株)大広電気(八潮市)
大洋電設工業(株)(越谷市)
(株)高岡電気工業(松伏町)
○ニチデン技術サービス(株)
(北本市)
野口電気工事(株)(越谷市)
深井電気(株)(北本市)
(株)弓木電設社(白岡市)

西部支部(19社)

- (株)新井電機(飯能市)
○飯島電器工事(株)(川越市)
◎(株)市之瀬電設(志木市)
(株)大庭電気商会(川越市)
(株)岡島電気商会(川越市)
(株)おぎでん(川越市)
熊田電気工事(株)(狭山市)
(株)三共電気商会(和光市)
(株)関根電気商会(川越市)
相馬電業(株)(和光市)
(株)電成社(川越市)
(株)中村電気(新座市)
○橋電(株)(所沢市)
(株)橋本電工(所沢市)
フジヤ電気工事(株)(川越市)
(株)北産電設(所沢市)
(株)まつもと電機(和光市)
(株)明電社(川越市)
(株)ヤマト・イズミテクノス
(ふじみ野市)

南部支部(10社)

- 内山電設(株)(川口市)
◎(株)奥富電気工事(川口市)

- 川島電気(株)(川口市)
(株)佐久間電設(川口市)
佐野電機(株)(川口市)
三位電気(株)(川口市)
高山電設工業(株)(川口市)
(株)田部井電気(川口市)
釣谷電機(株)(川口市)
○那須電機工業(株)(川口市)

北部支部(16社)

- イーテクノス(株)(熊谷市)
(株)エコー(深谷市)
岡根電気工事(株)(本庄市)
小沢電気工事(株)(行田市)
共和電機(株)(秩父市)
◎熊谷電機(株)(熊谷市)
(株)栗原電機(深谷市)
霜田電気(株)(皆野市)
中外電気工業(株)(深谷市)
(株)東電工業社(熊谷市)
(株)長井電機(熊谷市)
(株)沼尻電気工事(深谷市)
(株)早川電工(鴻巣市)
○松山電設(株)(東松山市)
ムサン電機工業(株)(行田市)
○(株)躍進電気(深谷市)

太田昭宏国土交通大臣訪問

7月31日に当協会の代表者が島村会長褒章受章のお礼を兼ね、太田昭宏国土交通大臣にご挨拶して参りました。

お忙しい公務の中、時間を割いていただいたき、平成26年春の褒章伝達式での大臣の暖かい言葉に感謝申し上げますと、大臣がにこやかな笑顔で日ごろの業界の活動に対し、ねぎらいの言葉をかけてくださいました。

短い時間でしたが、中小専門工事業者の苦悩や厳しい経営状況などについても耳を傾け、状況把握のためにその場で担当者を選んで下さるなど、ご配慮いただき有意義なひと時となりました。

